

障害のある人の学習状況や学習支援などに関する 調査の報告について

1 調査の概要

- (1) 調査目的
- (2) 対象及び回答数
- (3) 期間及び方法

2 主な調査結果

- (1) 調査結果概要
- (2) 大学・専修学校等
 - ア 知的障害のある学生の在籍状況
 - イ 学生支援に関する組織等
 - ウ 知的障害のある学生への支援
 - エ 知的障害のある人への講座の実施状況
- (3) 特例子会社
 - ア 社内研修等の実施状況
 - イ レクリエーション等の実施状況
- (4) 福祉事業所
 - ア 利用者の研修等の実施状況
 - イ 利用者のレクリエーション等の実施状況

3 今後の方針

- 進路指導資料の作成
卒業後大学等への進学希望がある生徒向けの進路指導資料の作成

障害のある人の学習状況や学習支援などに関する調査

1 調査の概要

(1) 調査目的

大学、専修学校、職業能力開発センター（校）、特例子会社及び福祉事業所における学習支援やキャリア形成支援等の状況を把握し、特別支援学校卒業生の進路指導の充実を推進する。

(2) 対象及び回答数

- | | |
|-------------------------|-----|
| ・ 大学・専修学校・職業能力開発センター（校） | 244 |
| ・ 特例子会社 | 81 |
| ・ 福祉事業所 | 349 |

(3) 期間及び方法

- ・ 令和7年7月7日（月）から令和7年9月12日（金）まで
- ・ Webアンケートによる

2 主な調査結果

(1) 調査結果概要

ア 大学・専修学校等

- ・ 大学・専修学校等の約20%（49校）に、282名の知的障害のある学生が在籍
- ・ 大学・専修学校等（知的障害のある学生が在籍していない学校を含む。）の約20%（48校）で、知的障害のある学生に対する授業及び授業以外での支援を実施

イ 特例子会社

- ・ 特例子会社の約55%が、社内での研修や学びとして、定例の集合研修を実施
- ・ 特例子会社の約45%で、年に数回、レクリエーション等を実施

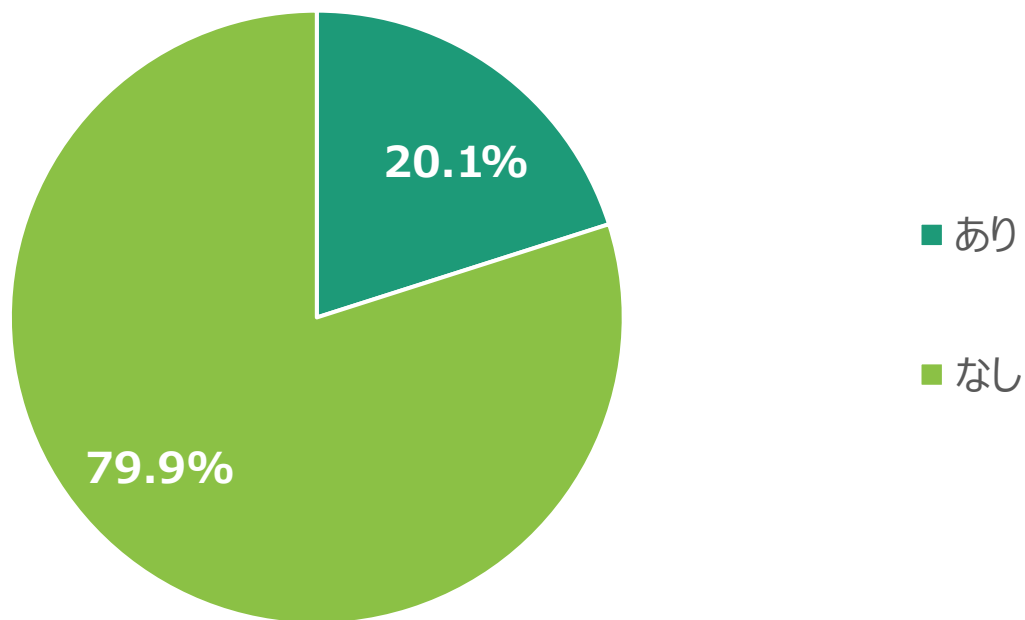
ウ 福祉事業所

- ・ 福祉事業所の約55%が、事業所の研修や学びとして、余暇・レクリエーション活動を実施
- ・ 福祉事業所の約35%で、月に1回程度、レクリエーション等を実施

(2) 大学・専修学校等

ア 知的障害のある学生の在籍状況について

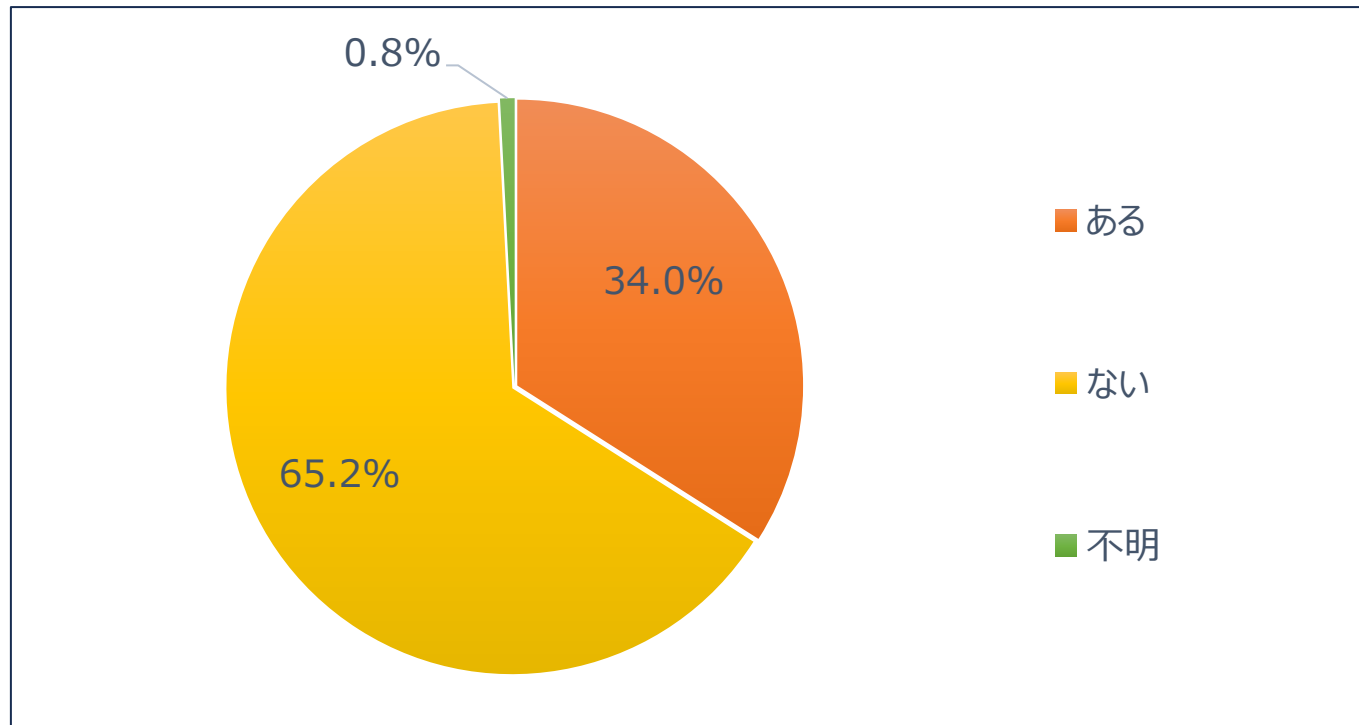
あり	20.1%
なし	79.9%



イ 学生支援に関する組織等

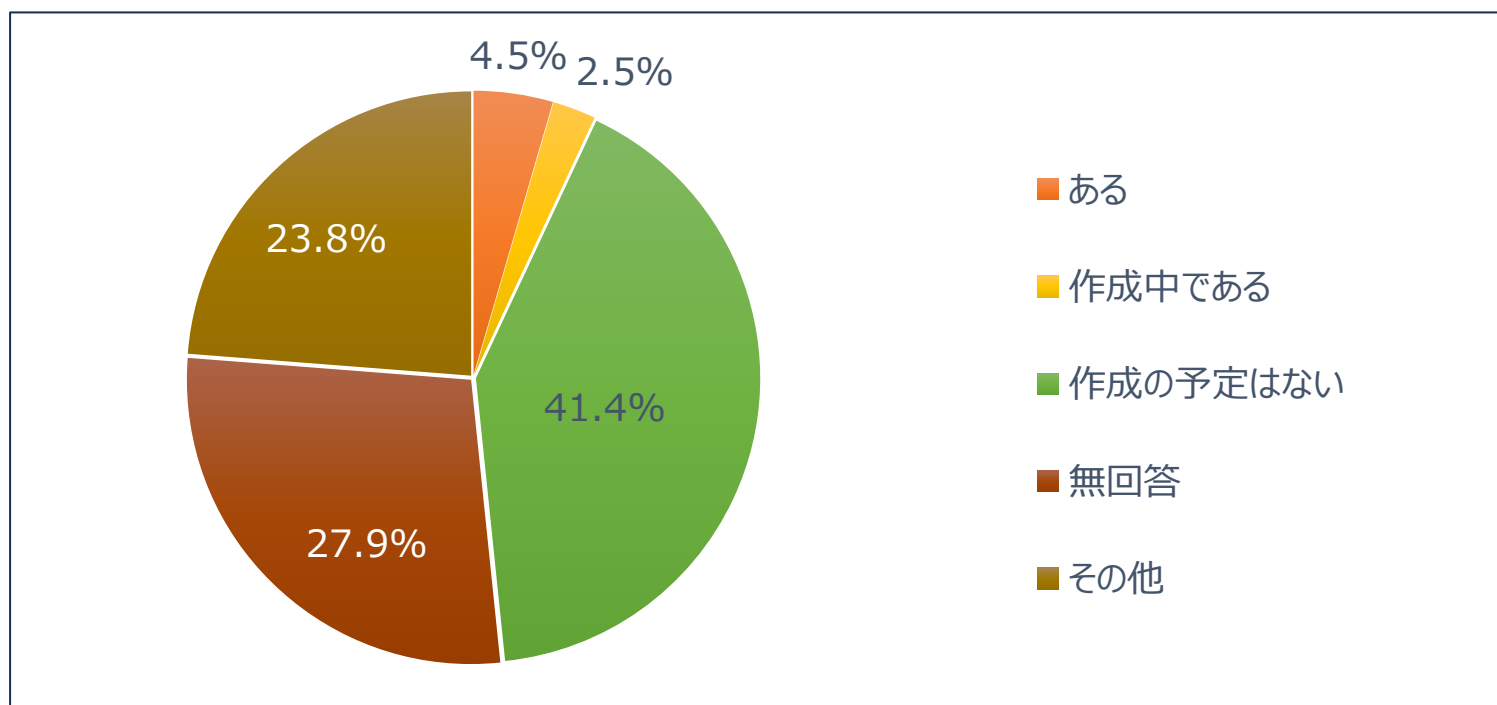
(ア) 学校内に障害のある学生支援に関する組織はありますか

ある	34.0 %
ない	65.2 %
不明	0.8 %



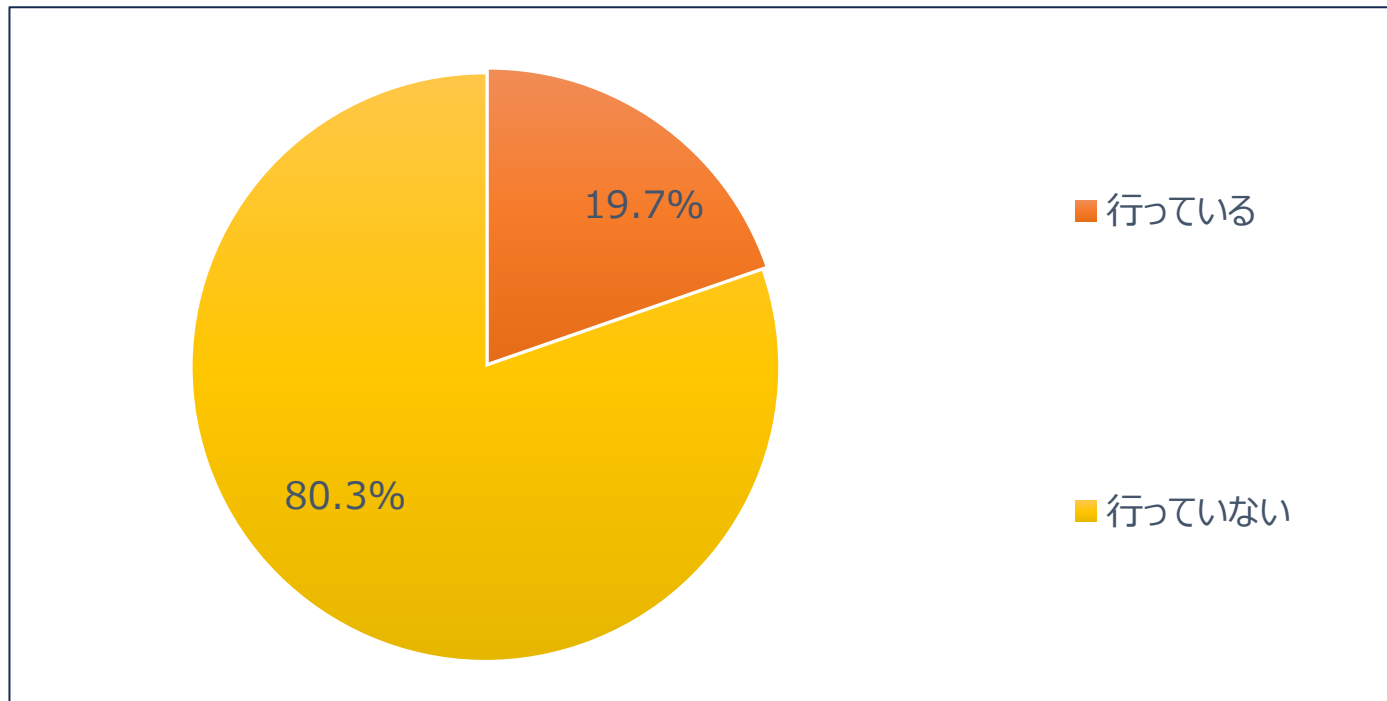
(イ) 知的障害のある学生への支援に関する規則等がありますか

ある	4.5 %
作成中である	2.5 %
作成の予定はない	41.4 %
無回答	27.9 %
その他	23.8 %



ウ 知的障害のある学生への支援 知的障害のある学生に対する授業及び授業以外での 支援の状況

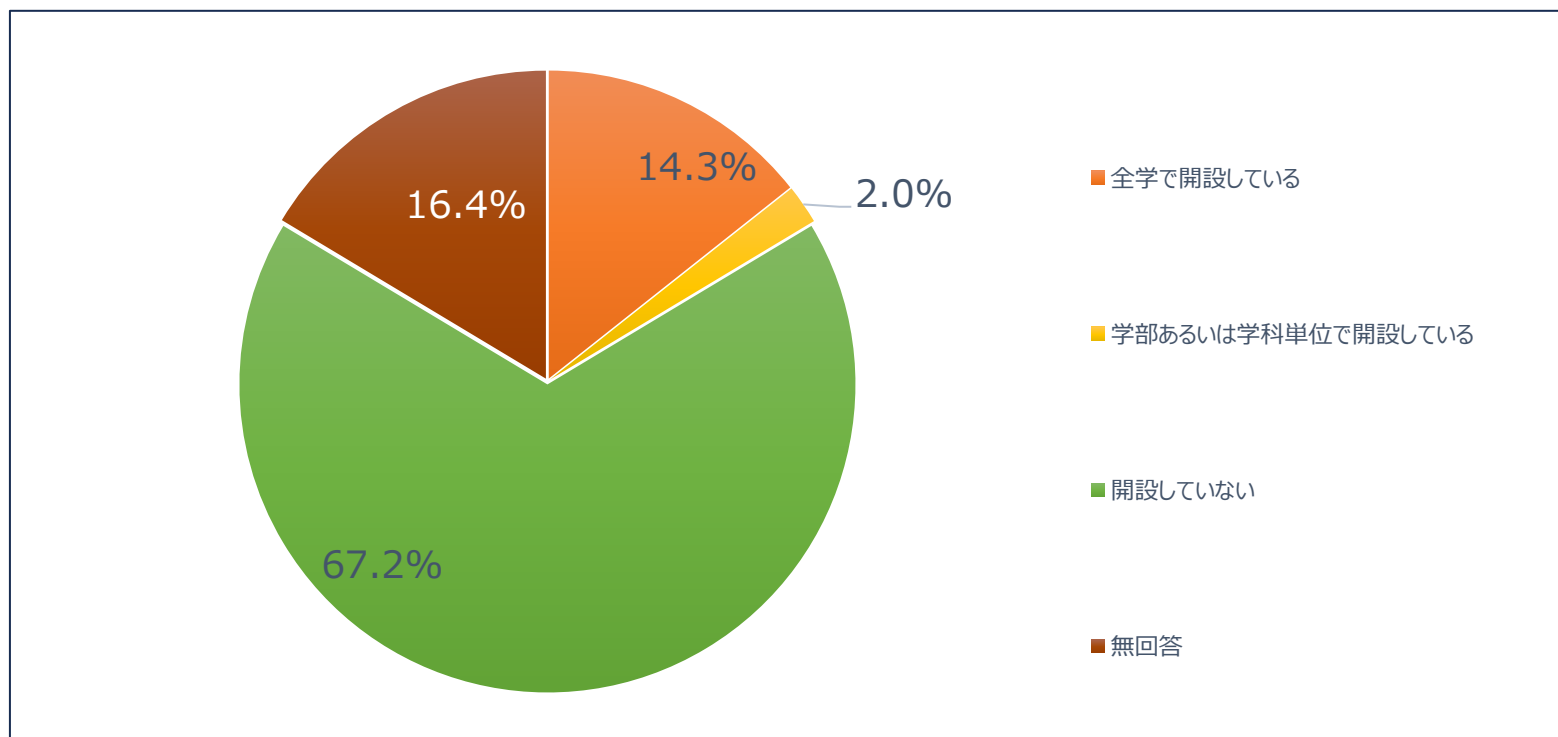
行っている	19.7 %
行っていない	80.3 %



工 知的障害のある人への講座の実施状況

知的障害のある学生が受講できるキャリア教育科目は開設していますか

全学で開設している	14.3 %
学部あるいは学科単位で開設している	2.0 %
開設していない	67.2 %
無回答	16.4 %



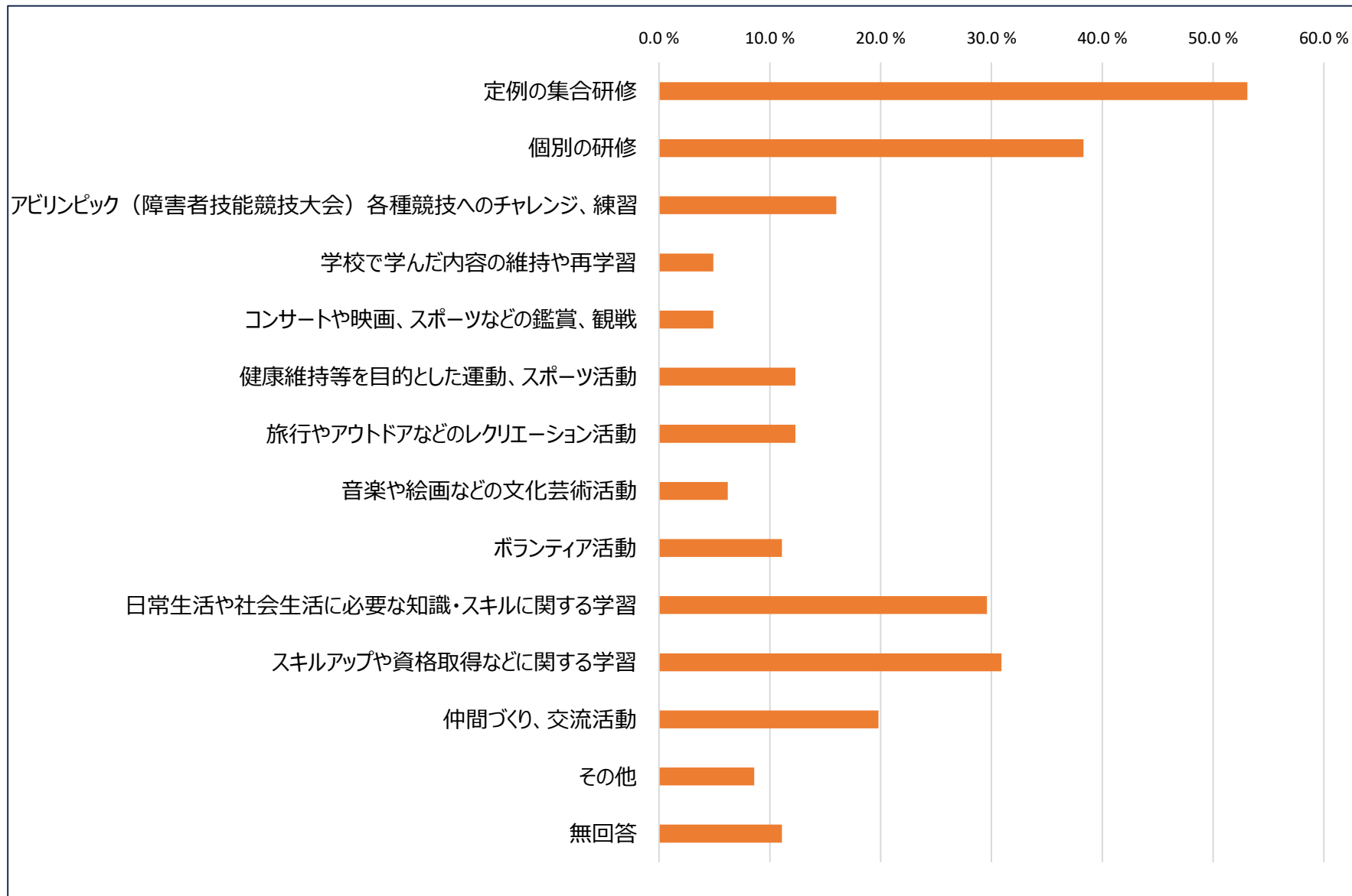
(3) 特例子会社

ア 社内研修等の実施状況（複数回答）

社内で行っている研修や提供する学びの内容の実施状況

定例の集合研修	53.1 %
個別の研修	38.3 %
アビリンピック（障害者技能競技大会）各種競技へのチャレンジ、練習	16.0 %
学校で学んだ内容の維持や再学習	4.9 %
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	4.9 %
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	12.3 %
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	12.3 %
音楽や絵画などの文化芸術活動	6.2 %
ボランティア活動	11.1 %
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	29.6 %
スキルアップや資格取得などに関する学習	30.9 %
仲間づくり、交流活動	19.8 %
その他	8.6 %
無回答	11.1 %

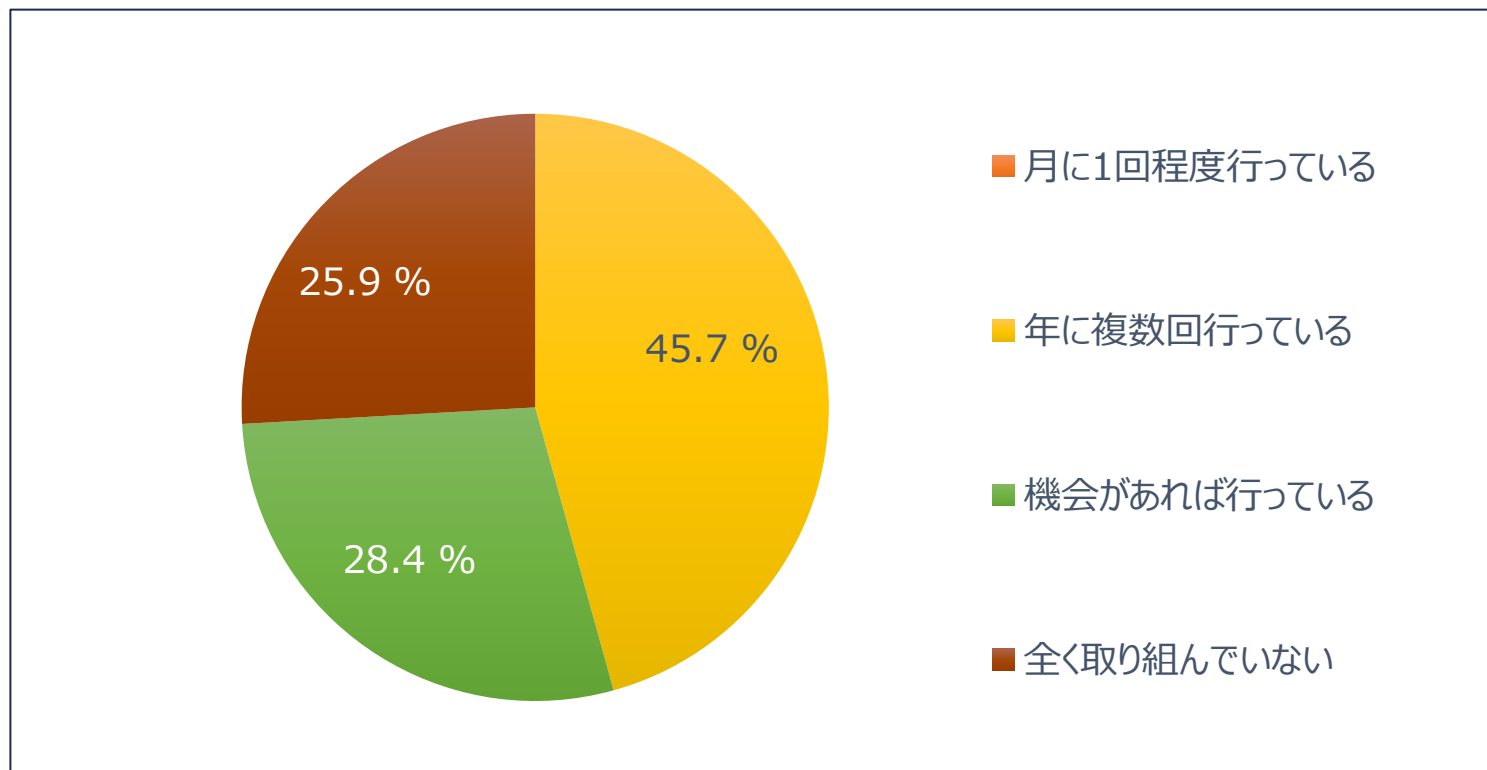
社内で行っている研修や提供する学びの内容の実施状況



イ レクリエーション等の実施状況

(ア) 障害者も参加できるレクリエーションなどの開催頻度を教えてください

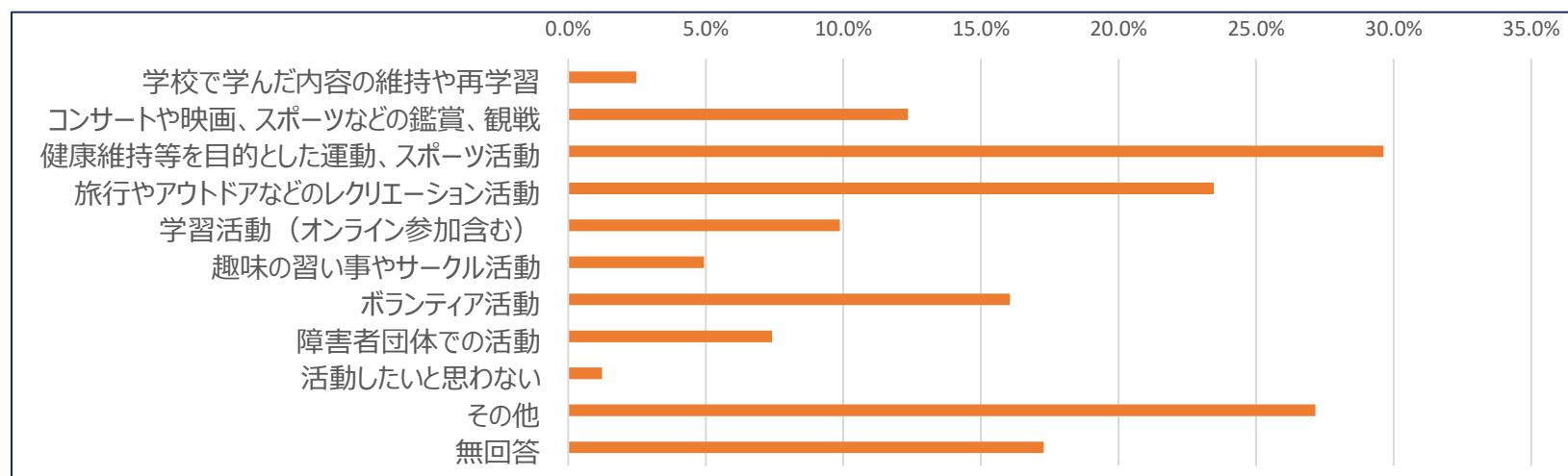
月に1回程度行っている	0.0 %
年に複数回行っている	45.7 %
機会があれば行っている	28.4 %
全く取り組んでいない	25.9 %



イ レクリエーション等の実施状況

(イ) 障害者も参加できるレクリエーション活動を教えてください（複数回答）

学校で学んだ内容の維持や再学習	2.5 %
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	12.3 %
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	29.6 %
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	23.5 %
学習活動（オンライン参加含む）	9.9 %
趣味の習い事やサークル活動	4.9 %
ボランティア活動	16.0 %
障害者団体での活動	7.4 %
活動したいと思わない	1.2 %
その他	27.2 %
無回答	17.3 %

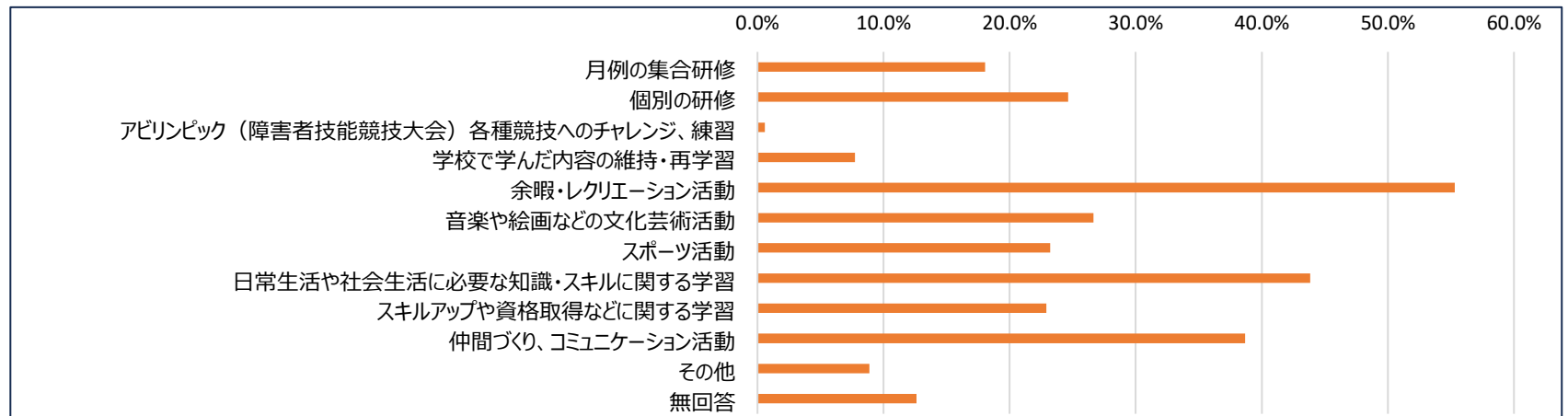


(4) 福祉事業所

ア 利用者の研修等の実施状況（複数回答）

事業所内で行っている研修や提供する学びの内容の実施状況

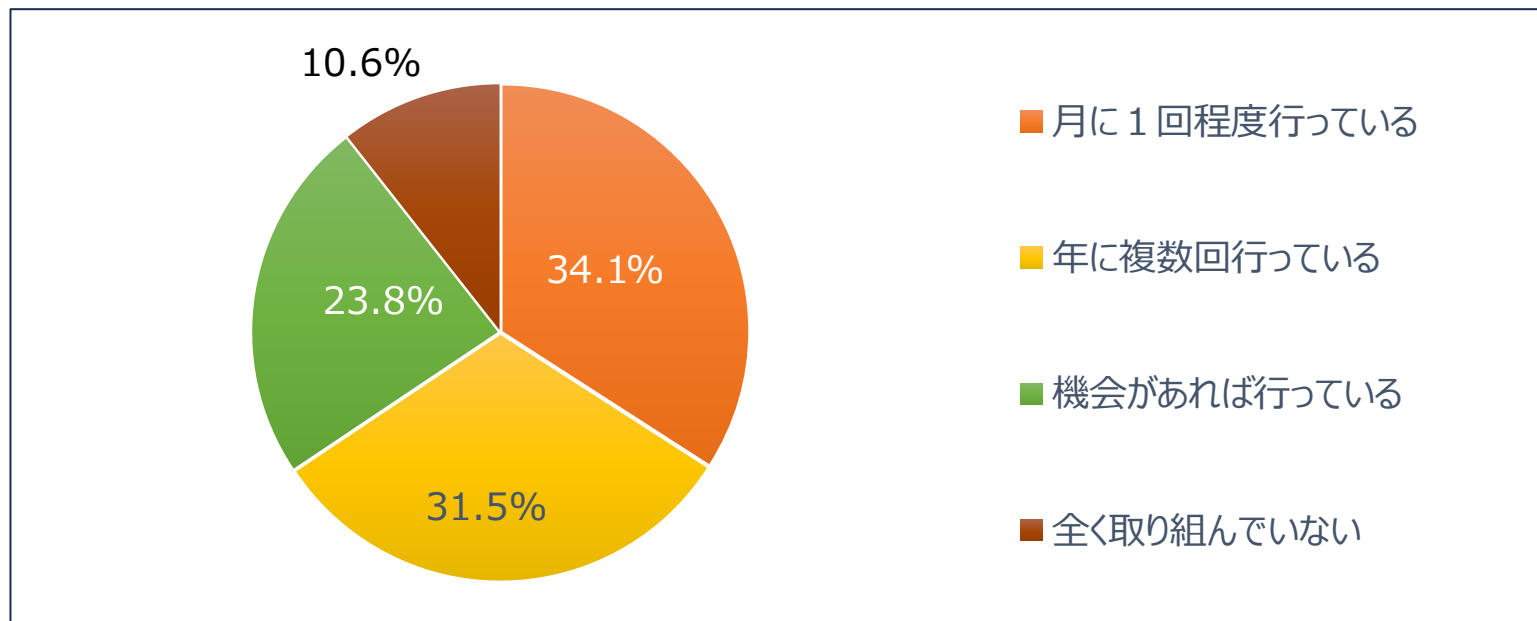
月例の集合研修	18.1 %
個別の研修	24.6 %
アビリンピック（障害者技能競技大会）各種競技へのチャレンジ、練習	0.6 %
学校で学んだ内容の維持・再学習	7.7 %
余暇・レクリエーション活動	55.3 %
音楽や絵画などの文化芸術活動	26.6 %
スポーツ活動	23.2 %
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	43.8 %
スキルアップや資格取得などに関する学習	22.9 %
仲間づくり、コミュニケーション活動	38.7 %
その他	8.9 %
無回答	12.6 %



イ 利用者のレクリエーション等の実施状況

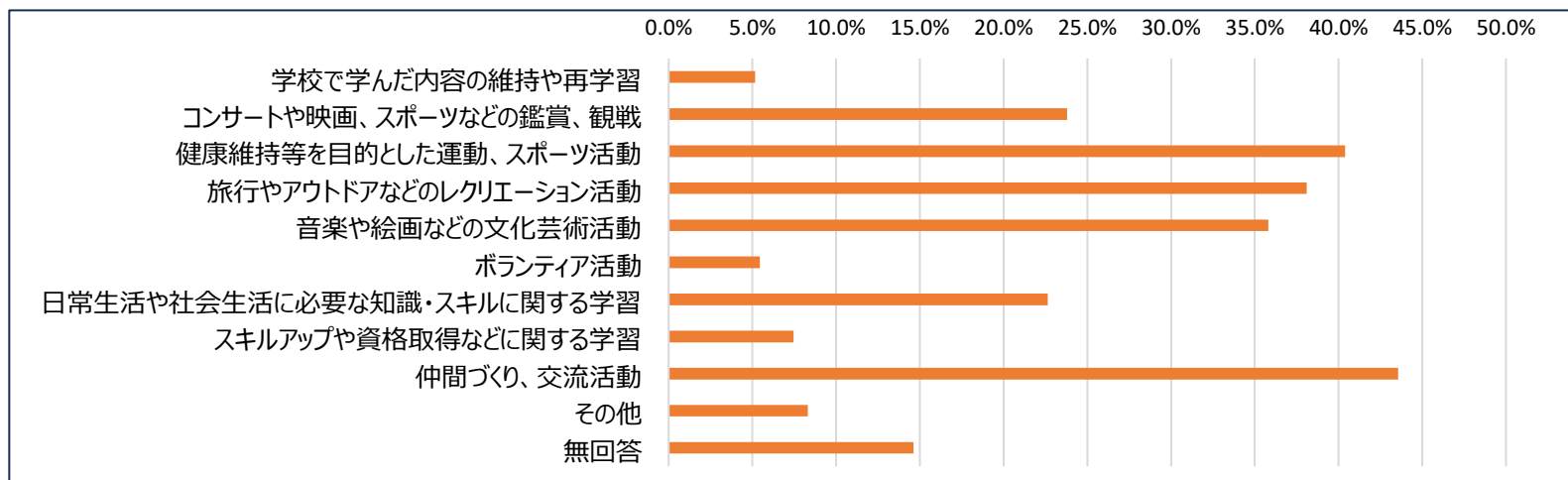
(ア) 事業所利用者向けのレクリエーションなどの開催頻度を教えてください

月に1回程度行っている	34.1 %
年に複数回行っている	31.5 %
機会があれば行っている	23.8 %
全く取り組んでいない	10.6 %



(イ) 事業所利用者向けのレクリエーション活動内容を教えてください (複数回答)

学校で学んだ内容の維持や再学習	5.2 %
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	23.8 %
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	40.4 %
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	38.1 %
音楽や絵画などの文化芸術活動	35.8 %
ボランティア活動	5.4 %
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	22.6 %
スキルアップや資格取得などに関する学習	7.4 %
仲間づくり、交流活動	43.6 %
その他	8.3 %
無回答	14.6 %



3 今後の方針

進路指導資料の作成

- ・知的障害のある生徒が大学、専修学校への進学時に必要となる能力や合理的配慮等を進路指導資料にまとめる。

⇒ **生徒一人ひとりのニーズに応じた進路指導の充実につなげる。**